

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 024	提案機関名 農政部畜産課
要望問題名 未経産牛に使用可能なOPUのための小型超音波プローブの開発及び過剰排卵処理法の検討	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 OPU-IVFによる牛の胚生産は、改良増殖に有効なツールと考えられる。今後、より改良速度を上げるために育成牛で実施することが求められる。 現状で使用されている超音波プローブは経産牛用で太く長いため、未経産牛には使用できない。そこで、未経産牛に使用できる小型の超音波プローブについて、メーカー等外部機関と連携し開発をお願いしたい。 併せて、未経産牛からより多く卵子が採取できる過剰排卵処理法について検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	大家畜グループ
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 未経産牛におけるOPUを用いた後継牛確保対策(令和2～6年度)		
対応の内容等	当所で使用している超音波診断装置のメーカーに対してプローブの小型化を要望しています。今後は、メーカーとの情報交換を図りながら対応を検討していきたいと思ひます。 当所では、令和2年度からホルスタイン種未経産牛においてOPU実施可能月齢の調査を開始しました。来年度以降、未経産牛でのOPU実施と、未経産牛に適した過剰排卵処理法も含め、段階を踏んで検討していきたいと思ひます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			